

# 企業会計

**〔質疑〕**水道事業会計において平成29年度の有収率が前年度より1・43ポイントアップしている。

この上がった経緯をどのようにつまえているか伺う。

**〔答弁〕**水道の有収率アップの分析については、平成29年度において旧簡易水道の三住地区、湯元地区が統合されたことが挙げられる。

新旧簡易水道については、三住地区が大きな漏水が発見されて修理したこと、また、湯元地区の施設全体が更新され新しくなっていることから、おのの地区については平成29年度の有収率がアップしている。

平成29年度はそれを統合した形となっていることから、その影響がある程度あったものと考えている。

**〔質疑〕**下水道事業会計において、平成29年度は債務超過状態であり、負債の部分が大きく膨らんでいる状況になっている。

予算の立て方の方のぶれがあまりに大きいと、次の予算の立て方や経営の見通しがなかなか難しくなると思うが、今後、負債をどのように解決していくスケジュールを立てているのか伺う。

**〔答弁〕**累積欠損金については以前よりあったが、特に東日本大震災に伴う特別損失が多額に累積しているため大きく膨らんでおり、下水道事業としては利益自体が発生していないことから、欠損金を埋めることができない現状となっている。

下水道の震災復旧工事は平成29年度で完了しており、大震災に係る損失も同年度で収束する。今後は、本市と同様の状況にある自治体も多いことから、他の自治体例も参考に、累積欠損金の処理についての検討を進めていく所存であるが、その処理には長期間を要すると考えている。

# 予算審査特別委員会

第62号議案・平成30年度白石市一般会計補正予算(第2号)から第66号議案・平成30年度白石市下水道事業会計補正予算(第1号)の計5議案について、定例会4日目(9月6日)の本会議において質疑が行われた後、議長を除く全議員で構成する予算審査特別委員会が設置され、審査が付託されました。

同委員会(委員長・澁谷政義、副委員長・大野栄光)は、9月11日に審査を行い、すべての議案について、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。

審査の中で議論された主な点は次のとおりです。

◎平成30年度白石市一般会計補正予算(第2号)

## 総務費

**〔質疑〕**新しくできる市場の愛称の商標登録手数料として、96万8千円が計上されているが、愛称が「おもしろい市場」に決定した経緯を伺う。

**〔答弁〕**愛称の決定については、農産物等販売施設について、市民から親しまれる施設となるよう公募により募集を行い、募

## 商工費

**〔質疑〕**やまぶき亭の厨房修繕工事として予算が計上されて

いる。店舗は今も稼働しているが、被害状況と修繕内容、予定している工事の時期、期間について伺う。

**〔答弁〕**内容としては、厨房内の壁、柱の老朽化によるシロアリ被害に対する補修工事、天井や壁の塗装が劣化していることによる再塗装、厨房の床のシートが経年劣化で古くなってきており、すき間があいてきていることから、衛生環境の向上を図るためのシート張替工事となっている。

工期は11月の初旬から準備を始め、同月末をもって完成できればと考えている。

**〔質疑〕**やまぶき亭の修繕工事は1カ月ほどかかる見込みとのことだが、その間、例えば仮店舗での営業という予定はないのか。

**〔答弁〕**その間は休業し、仮店舗による営業はしないこととしている。